



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 群栄化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4229 URL http://www.gunei-chemical.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)有田 喜一郎
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)瀧井 康雄 (TEL)027-353-1810
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	6,828	2.3	493	△29.2	508	△30.6	351	△29.0
30年3月期第1四半期	6,672	4.5	696	△0.8	731	7.7	494	△1.8

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 224百万円(△67.7%) 30年3月期第1四半期 696百万円(662.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	50.64	—
30年3月期第1四半期	71.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	51,873	41,873	78.1
30年3月期	52,205	41,954	77.7

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 40,514百万円 30年3月期 40,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	13,900	6.5	1,140	△8.4	1,200	△13.1	700	△28.8	100.98	
通期	28,000	6.1	2,000	△18.7	2,100	△22.5	1,300	△17.9	187.53	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年3月期1Q	8,998,308株	30年3月期	8,998,308株
31年3月期1Q	2,065,986株	30年3月期	2,065,916株
31年3月期1Q	6,932,372株	30年3月期1Q	6,931,380株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の回復を受けて輸出が増加基調にある中で、企業収益の改善や設備投資の増加、個人消費の拡大など、緩やかな回復基調が継続いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループは、事業環境の変化に対応し、製品の高付加価値化に取り組み、新規顧客の獲得やきめ細かい技術サポートを行うなど、更なる事業基盤の強化を図ってまいりました。

化学品事業においては、電子材料向け樹脂及び住宅関連向け樹脂、自動車関連向け樹脂、建設機械向け樹脂が堅調に推移した結果、増収となりました。

食品事業においては、異性化糖の各種飲料向けが伸び悩んだ結果、減収となりました。

不動産活用業は、ほぼ前年並みで推移いたしました。

以上の結果、当社グループの売上高は前年同期比2.3%増加の6,828百万円となりました。

利益面では、輸入原材料価格の上昇等の影響を受けたことにより、営業利益は前年同期比29.2%減少の493百万円、経常利益は前年同期比30.6%減少の508百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比29.0%減少の351百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べ331百万円減少し、51,873百万円となりました。これは、主に現金及び預金と有価証券が減少したことによるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ250百万円減少し、10,000百万円となりました。これは、主に未払法人税等及び賞与引当金、借入金が減少したことによるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ80百万円減少し、41,873百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月15日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,693	6,989
受取手形及び売掛金	8,115	8,169
有価証券	2,000	1,900
商品及び製品	1,831	1,870
仕掛品	595	745
原材料及び貯蔵品	1,214	1,245
その他	216	203
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	21,667	21,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,172	22,172
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,898	△15,988
建物及び構築物(純額)	6,273	6,183
機械装置及び運搬具	30,707	30,766
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,453	△27,622
機械装置及び運搬具(純額)	3,253	3,143
土地	7,969	7,969
リース資産	111	111
減価償却累計額及び減損損失累計額	△71	△76
リース資産(純額)	40	35
建設仮勘定	343	942
その他	2,908	2,934
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,492	△2,521
その他(純額)	416	412
有形固定資産合計	18,297	18,688
無形固定資産	31	39
投資その他の資産		
投資有価証券	10,990	10,864
その他	1,296	1,236
貸倒引当金	△77	△77
投資その他の資産合計	12,209	12,023
固定資産合計	30,537	30,751
資産合計	52,205	51,873

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,944	3,849
1年内返済予定の長期借入金	600	600
未払金	1,485	1,737
未払法人税等	371	81
賞与引当金	366	199
その他	125	346
流動負債合計	6,894	6,813
固定負債		
長期借入金	1,050	900
環境対策引当金	11	8
固定資産撤去引当金	25	25
退職給付に係る負債	1,705	1,693
その他	565	559
固定負債合計	3,356	3,186
負債合計	10,250	10,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	25,690	25,690
利益剰余金	13,496	13,569
自己株式	△5,463	△5,463
株主資本合計	38,723	38,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,758	1,663
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	127	89
退職給付に係る調整累計額	△39	△35
その他の包括利益累計額合計	1,847	1,717
非支配株主持分	1,383	1,358
純資産合計	41,954	41,873
負債純資産合計	52,205	51,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	6,672	6,828
売上原価	5,092	5,479
売上総利益	1,580	1,349
販売費及び一般管理費	883	856
営業利益	696	493
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	9	14
持分法による投資利益	3	—
その他	15	17
営業外収益合計	42	47
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	—	10
その他	5	21
営業外費用合計	7	32
経常利益	731	508
特別利益		
保険差益	9	—
その他	0	0
特別利益合計	9	0
特別損失		
固定資産処分損	5	2
その他	—	0
特別損失合計	5	2
税金等調整前四半期純利益	736	505
法人税、住民税及び事業税	107	46
法人税等調整額	111	80
法人税等合計	219	127
四半期純利益	516	378
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	494	351

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	516	378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172	△94
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△0	△62
退職給付に係る調整額	6	3
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	179	△153
四半期包括利益	696	224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	674	221
非支配株主に係る四半期包括利益	21	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,328	1,282	61	6,672
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	5,328	1,282	61	6,672
セグメント利益	586	68	41	696

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,553	1,212	61	6,828
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	5,553	1,212	61	6,828
セグメント利益又は損失(△)	490	△38	41	493

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成30年2月19日開催の取締役会において、三井化学株式会社から摩擦材（ブレーキ用途）用フェノール樹脂に関する事業を譲受けることを決議し、平成30年3月1日に同社と事業譲渡契約を締結しております。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 三井化学株式会社

事業の内容 摩擦材（ブレーキ用途）用フェノール樹脂に関する事業

② 企業結合を行った主な理由

今回譲り受けの対象である本事業は、当社の既存事業の周辺技術に位置づけられる事業であり、長年培った技術、ノウハウ等を活かし更なる拡大が期待できると判断したため、本事業を譲り受けることと致しました。

なお、本事業の製品に関しては、平成28年度より三井化学株式会社より製造受託を開始し現在に至っております。

③ 企業結合日

平成30年7月1日

④ 企業結合の法的形式

事業譲渡

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	740百万円
取得原価		740百万円